

こんなところに 市民寄草

1. 富士山のように広く
思いやりの心をもち
たがいに助け合います



おばあちゃんの笑顔

「お年寄りのために何か少しでも役立てれば」と、活動を続けているのが、今泉福祉活動『どんぐりの会』（代表根上昌代さん）。月に一度くらい、ひとり暮らしのお年寄りと一緒に手芸教室など、いろいろな活動をしています。今回は昔なつかしいげんこつあめづくり。参加した25人のおばあちゃんたちは、ワイワイガヤガヤ、満点の笑顔であめをこね回していました。でき上がったあめを食べると「味は満点だよ！」なんて言葉も飛び交いました。

みんなでつくった物は、誕生日を迎えたひとり暮らしのお年寄りにプレゼント。ちょっとしたことでも福祉です。



——間違いをどうして
陽子さん「私たち夫婦は二人とも大阪府立四条畷高校の出身なんですね。久しぶりに学校の名前を見つけて喜んだのに、間違いでちよつぴりがつかりました」

昇さん「間違いやすいですよ。二つとも、とても近くにありますし」

——広報ふじはいかが

陽子さん「いろんなことが載つていておもしろいです。いつも、一通りはざつと読みます。でも、地域の案内が少ないので。例えば、どこの公園で何があるとか、見ど

——富士市の住み心地は
陽子さん「ただらつて言葉が、お店に行つても怒られるみたいな感じでした。おしゃれやおみそも、辛いですね」

昇さん「富士弁って好きです。方言はいいですよ。富士市は、夏は涼しいし、冬はぬくい。植物も、からは富士山。ここからは、稲の緑がきれいです」

——ありがとうございました。

相 植名富子さんは、明治四十五年生まれの七十九歳。現役で活躍する内科のお医者さんです。植名さんは、モダンなおばあちゃんといった感じ。すてきな洋服をサラッと着こなして、趣味は、観劇とクラシック音楽を聞くこととか。昭和二十九年に開業して以来、長く診ているおじいちゃんやおばあちゃんの相談相手ともなっています。

地 域医療に尽くして。
「早苗ちゃん（娘）がね、体にいいからつて嫌いなのに、ピーマンやニンジンを細く切つて出してくれるの。」「早くない人。
——お医者さんになつたのは、義兄に勧められたから。「世の中、男みたいな医者は大勢いるが、富子は、女らしくやさしい医者になれるだろう」と。毎日午前九時から午後五時まで診察。多い日には、三十人くらいの患者さんを診ます。」
——のような者でも、「どうしても医者になれるだろう」と。毎日午前九時から午後五時まで診察。多い日には、三十人くらいの患者さんを診ます。」「私がお盆や暮れに来ててくれるの感謝されてるだけでありがたいし、生きがいよ。」「女も職業を持つ方がいい」

七月五日発行の広報ふじに、一ヵ所間違いがありました。全国高校総体の記事で、バドミントンの強豪四条畷高校とお知らせしましたが、実は、四条畷学園高校の間違いでした。さっそくお便りくださいたのが、川成島の久保田陽子さん。おわびかたがたおじやましました。

富士市は 夏は涼しいし 冬はぬくい

——こんにちわ 市民一年生です

ころの紹介とか。暮らしのたよりのページは、ちょっと見にくいくらいありました

昇さん「会社にも『工場報ふじ』があります。サイズも色も、広報ふじと大体同じです。担当者は、苦労しているみたいですね。意識調査の記事は、社員によく読まれたようです。女子社員が、上司をどう思っているかという記事でしたが」

陽子さん「堺市の表紙は、市民が書いたスケッチでした。仁徳天皇

陵とか公園のは、転入してきた人に宣伝になります」

——富士市の住み心地は

陽子さん「ただらつて言葉が、お店に行つても怒られるみたいな感じでした。おしゃれやおみそも、辛いですね」

らしくないお医者さん
地域医療に尽くす

椎名富子さん

(原田)

